

〔発表資料〕

音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座 第1期(上野学園大学音楽文化研究センター主催)

文化審議会第11期文化政策部会(第3回) 平成25年9月24日10:00~12:00

発表者 船山信子(上野学園大学学長代理・教授)

I. 過去の記録

1) 上野学園大学音楽文化研究センター主催 音楽教育プログラム

■音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座(基礎編)~音大生・音楽家・音楽教員・教育プログラム
 制作者のための~

- 第1回 平成21年8月26日~27日 10:00~18:00 ※上野学園 石橋メモリアルホール主催
 第2回 平成22年8月21日~22日 10:00~18:00
 第3回 平成23年8月20日~21日 10:00~18:00
 第4回 平成24年8月18日~19日 10:00~18:00

■こどものための音楽ワークショップ 夏休み!こども音楽クレヨン隊

- 第1回 平成21年8月27日 14:00~17:00 「マ・メール・ロワ」~音楽と物語、想像力の世界へ~
 第2回 平成22年8月22日 13:00~17:00 「自分らしい《夏》をつくろう」ヴィヴァルディ《四季》より《夏》
 第3回 平成23年8月21日 13:00~17:00 「音楽と時間の不思議」ケージ《ミュージサーカス》
 第4回 平成24年3月15日 19:00~20:30 「モーツァルトに会う」※平成23年度芸術文化振興基金助成事業
 第5回 平成24年8月19日 13:00~17:00 青少年のための音楽ワークショップ

■上野学園大学音楽文化研究センター講演会

- 第1回 平成24年2月22日 19:00~20:30
 「芸術教育はなぜ必要か」
 講師:ベルナルド・フォクルール(エクス=アン=プロヴァンス国際音楽祭総監督)
 第2回 平成24年3月17日 14:00~16:00
 「芸術教育プログラム:総合的学習への試み—子どもたちの向学心を引き出すキッカケを作ろう」
 講師:マイケル・スペンサー(上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員)

■フォーラム

- 第1回 平成24年8月27日 10:00~18:30
 「日本におけるファシリテーターの未来像—音楽のチカラ、ファシリテーターのチカラ」

■音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座

- 第1期 平成25年8月28日(水)~31日(土)全4日間 各日10:00~18:15
 第2期 平成25年12月14日(土)、15日(日)、22日(日)、23日(祝)全4日間 各日10:00~18:15(予定)

2) 学外における音楽教育プログラム活動

- 平成21年~ ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団)
 平成21年~ 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ(静岡県文化財団)
 ※以上の2団体は成人向けファシリテーター養成講座を同時開催。
 平成21年~ 日本フィルハーモニー交響楽団
 平成23年 東京アメリカンクラブ:東日本大震災被災児童のための音楽ワークショップ
 森美術館:フレンチ・ウィンドウ企画展
 平成24年 大宮区役所コミュニティ課:大宮区ふるさとづくり事業
 久喜総合文化会館
 ※以上、3団体は平成21年以前よりスペンサー客員研究員とワークショップを多数開催。
 平成23年 全国小中学校音楽教諭(450名参加)のための講習会 音楽教育推進協議会 夏期講座

II. 音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座 第1期 概要

趣旨と目的： 上野学園大学は、クラシック音楽におけるファシリテーター人材養成という新たな、しかも重要な教育課題が、わが国では美術に比べると遅れているという認識の下で、平成 21 年より上野学園 石橋メモリアルホール、平成 22 年度より大学音楽学部附置機関である音楽文化研究センターを拠点として、この課題に本格的に取り組んでいます(前頁過去の記録 参照)。

本講座は私どもがこれまでの活動をふまえ、満を持して開催したもので、日本で初めての本格的なファシリテーター養成講座となりました。以下の 4 事項を重点項目として、4 日間、合計 28 時間、1 から 10 までのセッションを実施しました。

- 1) ある程度の音楽的知識を持った人を対象とし、音楽ワークショップの実践に向けて、基本的理念、具体的な方法論とその実践法を詳細に学ぶ。
- 2) 講師、マイケル・スペンサーが世界社会で実践してきた事例と日本国内の事例を比較し、日本の音楽受容に相応しいファシリテーションの実践方法を追求する。
- 3) アウトリーチ活動に興味を抱く若い世代に、仕事してのファシリテーター活動の可能性を示す。
- 4) 参加者自身のコミュニケーション力を強化する。

以上の視点から、音楽ワークショップとは何か、なぜ今必要なのか、音楽ワークショップのファシリテーターの役割と具体的な方法とは何か、等を徹底的に検証し、考える場を提供しました。

また、「ワークショップ」の多様な分野における先駆的な研究あるいは実践を行ってきた荻宿俊文氏および吉野さつき氏の講義を加えることにより、音楽ワークショップの現状を俯瞰すると共に、その社会的需要を再認識したところであります。

日 時：2013 年 8 月 28 日（水）～31 日（土） 各日 10：00～18：15

会 場：上野学園 石橋メモリアルホール、同ホール ホワイエ、エオリアンホール、上野学園大学学生食堂

講 師：マイケル・スペンサー Michael Spencer

1953 年、英国ベリー生まれ。エデュケーター、ファシリテーター、ヴァイオリニスト。現在、Sound Strategies 経営責任者。バルセロナの Orquestra Simfònica del Vallès 教育プログラム担当。日本協会理事。2010 年より上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員となり、現在に至る。

約 25 年前から、芸術教育プログラムの開発・実践を先駆的に手がけ、世界各地で長年にわたりファシリテーター養成の領域で実績をあげている。ロンドン交響楽団員（ヴァイオリン）として、世界的に著名な教育プログラム『Discovery』の立ち上げに参画。英国ロイヤル・オペラ・ハウス教育部長（Head of Adult & Community Learning）として、学校教育カリキュラムに即した IT ソフトウェア「In2Arts:Opera」を開発（イングランド内中等教育機関 5000 校に配布）。2001 年、日英文化交流のための「Japan Festival」にて、歌舞伎とシェイクスピア劇を融合させた異色のワークショップ・プロジェクトを、二代目中村又蔵と共に英国各地で行い、Japan Festival Award を受賞。

日本では、社団法人日本オーケストラ連盟主催（文化庁後援）、24 のプロフェッショナルなオーケストラによる教育プログラムを各地で実施。2006 年、皇后陛下ご臨席のもと、ワークショップ型コンサートを実施（紀尾井ホール）。

2008 年、アニメーション映画『ピーターと狼』（教育ディレクター担当）がアカデミー賞（短編アニメ部門）を受賞。11 年に TED×WWF（世界自然保護基金）出演。2012 年、英国免疫学会の依頼を受け、科学者と芸術家、地域コミュニティとの共生を目的とした芸術プログラムを英国各地で制作・実践した。

参加資格：18歳以上（原則として）の音楽ワークショップ推進役、ファシリテーターの実践的スキルを
学びたい方 募集人員 30名

参加者内訳：全 40名

一般 21名

[北海道 1、宮城 2、東京 11、埼玉 1、神奈川 2、愛知 1、岐阜 1、大阪 1、滋賀 1]

職種：演奏家、作曲家、地方自治体文化事業担当、劇場音楽堂職員、音楽団体職員、
大学教員、音楽教室経営者、幼稚園経営者、ピアノ講師・個人教師 等

学生 19名

[東京 7、千葉 7、埼玉 3、神奈川 1、長野 1]

見学者 延べ 31名

料 金：一般 35,000円、一般学生 15,000円 協力大学 10,000円

主 催：上野学園大学音楽文化研究センター

企画協力：Sound Strategies Ltd.

後 援：文化庁、ブリティッシュ・カウンシル、台東区、台東区教育委員会、公益社団法人日本オー
ケストラ連盟、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、一般社団法人日本クラシック音楽事業
協会、特定非営利活動法人ワークショップデザイナー推進機構、文化庁芸術家在外研修員の会

講座のセッションから



1日目の最後に、付箋で提出された多くの
質問をグループ分けして、丁寧に答える
スポンサー講師



《展覧会の絵》のイメージづくりで、
テーマ「花束」を体現する受講生たち

Ⅲ. 講座授業プログラム（第1～10セッション）

日	セッション	テーマ	内容等
8 / 28	午前	1 ▶基調レクチャー ワークショップ開始の前に	「学び」としてのワークショップを考える <ul style="list-style-type: none"> ・ソクラテス的思考と儒教的思想の比較（日本におけるワークショップの方法のために） ・教育論からのアプローチ（多文化世界、多重知能理論 etc.） ・「学び」の新しい教育理念：意志的選択・知的好奇心・相互関係（理解）
	午後	2 ▶特別レクチャー1 ワークショップとは何か	講師：荻宿俊文氏（青山学院大学社会情報学部教授） ワークショップの理念・その重要性・日本の現状と展望
		グループワーク	ファシリテーターの役割を考える
8 / 29	午前	3 ▶レクチャーとワーク 音楽づくりの基本	音楽の構成要素・音楽づくりを考え直そう <ul style="list-style-type: none"> ・リズム、メロディ、主題、和声、伴奏、音組織、旋法、形式（構造）の検証 ・図形楽譜の採用（発想を豊かにする方法） ・より良い音楽づくりの発見（サイコロ、トランプ etc.）
	午後	4 ▶レクチャーとワーク 教育楽器とそのアンサンブル	教育楽器の徹底研究 <ul style="list-style-type: none"> ・音づくりのコツ ・楽器のさまざまな分類法 ・メンテナンスの方法 効果的なアンサンブルの手がかり <ul style="list-style-type: none"> ・聴く・見る・予測する etc.
		5	即興演奏に挑む
8 / 30	午前	6 ▶レクチャー ワークショップのテーマとレパトリー	名曲等の素材選定とそのワークショップづくりのコツ <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備（下調べ）に時間をかける ・どこに着眼するかへのひらめきと大切さ（目的設定と達成のプロセス） ・ワークショップのまとめ方（終わり方）
	午後	7 ▶レクチャーとワーク ワークショップを組み立てよう	目的に沿いワークショップを組み立てるプロセス <ul style="list-style-type: none"> ・素材づくりとその組み立て ・学習指導要領、既成カリキュラムへの目配り
		グループワーク	アイデアをワークショップ化する
8 / 31	午前	8 ▶課題ワークの発表 私のワークショップ、あなたのワークショップ	8つのグループが大ホール全体を使用し、10分間のワークを発表 <ul style="list-style-type: none"> ・受講生をワークショップの参加者と見立てて、常に全員が参加
	午後	9 ▶特別レクチャーII ワークショップの諸相	講師：吉野さつき氏（愛知大学准教授、ワークショップデザイナー推進機構理事長） 多様な環境・ニーズに合わせたワークショップ体験 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者とのワークショップ ・社会問題に立ち向かうワークショップ
		10	ファシリテーションの総括

IV. アンケート結果

1) 事前アンケート集計結果 [回答者 38名]

Q.どこでお知りになりましたか？（複数回答可）

- 45% 知人・関係者から
- 17% チラシ
- 13% 上野学園大学／石橋メモリアルホールのホームページから
- 8% SNS (Twitter や Facebook など)
- 6% 上野学園からのメール、メールマガジン
- 2% 音楽雑誌やニュースレターなどの学外刊行物
- 9% その他

Q.音楽ワークショップ・ファシリテーターの経験はありますか？

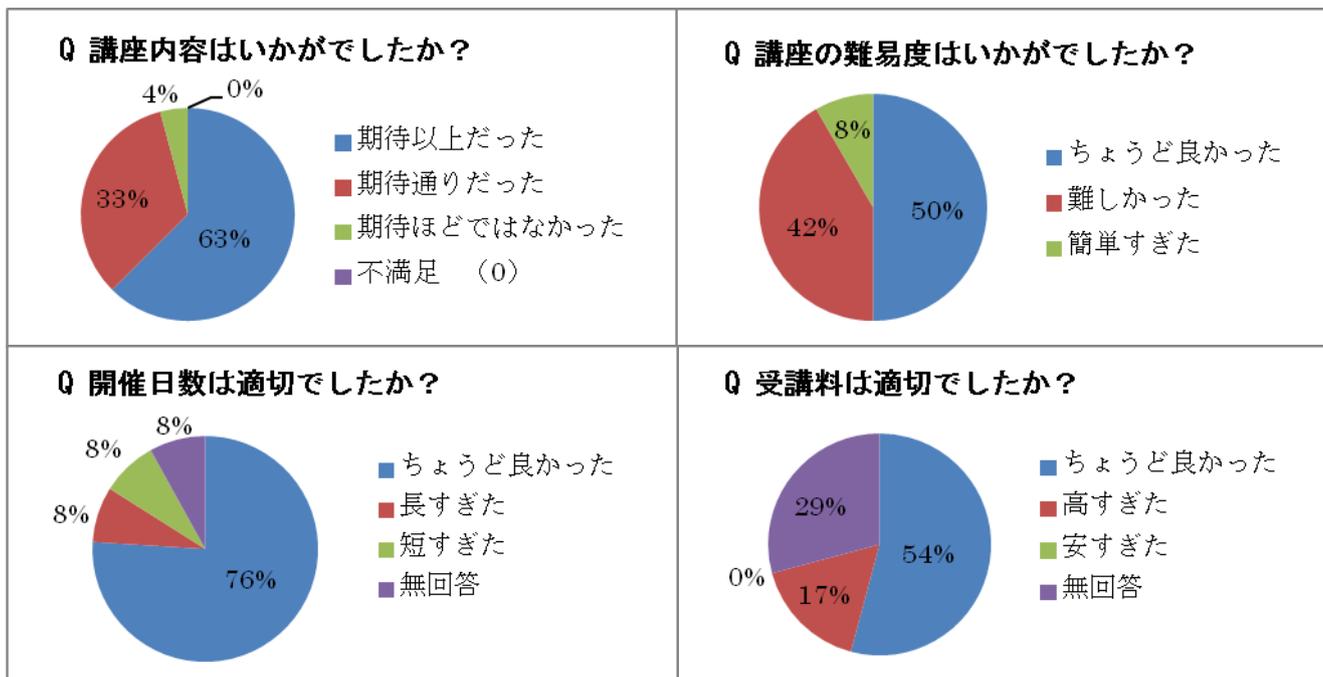
「ある」

- 42% 音楽ワークショップに補助的な役割に関わったことがある。
- 11% これまでに5回以上、ファシリテーター（リーダー）として音楽ワークショップを行ったことがある。

「ない」

- 47% 音楽ワークショップに興味はあるが、ファシリテーターとして活動したことはない。

2) 事後アンケート集計結果 [回答者 24名]



3) 全体のコメント（抜粋）

「今までやってきた内容から学んだことを基に、各グループでワークを考え、実践する機会があったのが良かった。実際にファシリテートすることで、知識がより深まったし、新たな課題が見えたように思う」

「同じファシリテーターを目指す人の集まりだったが、立場の違いがあり、だから、仕事がスムーズに進められないことを再認識した。音大生の考え方や発言が、とても新鮮で面白く、可愛かった」

「ワークショップがこんなにも深いとは思いませんでした。本当に勉強になりました。もっともっと勉強したいです」

4) 個別のコメント（抜粋）

- 「1日目の荻宿先生の講義は、1日目には少し難しかった」
- 「もう少し長く、または合宿形式でも良かったかもしれない」
- 「内容的には4日間は適切だったが、体力的には長すぎた」
- 「今までの知識や学び、自分が考え感じていたこととリンクさせ、再認識できる場であった」